



～ひかり～



12月生活目標:学校をきれいにしよう

令和2年12月15日(火) 文責:校長 宮崎

文部科学省 「GIGA スクール構想」による1人1台タブレット端末が整備されます

今年度中に、文部科学省の「GIGA スクール構想」により、全小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末が整備され、各教室でインターネットが利用できるようになります。四万十市でも急ピッチでネット環境の整備が進められ、年度末にはハード面は整う予定ですが、タブレットの本格的な活用は来年度以降になります。教員も児童も、新しい学びが始まるということで、ワクワク期待をしています。

文部科学省では、下図のように、「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージを描いています。学び方が大きく変わってきます。今後、教員研修も進められる予定です。

今回GIGAスクール構想で実現する1人1台のタブレット端末を活用した一斉授業のメリットとして、文部科学省では「1人1人の反応を把握でき、きめ細かな指導が可能となり、双方向型の授業が展開でき、更に深い学びが得られるようにできる。また、個別学習では個々の段階にあった内容を学習することができ、学習履歴が自動的に記録できるので、個々の教育的ニーズや理解度に応じた指導が可能になる。また、グループ学習では、1人1人が集めた情報を即座に共有でき、共同編集がしやすく、すべての児童が情報の編集を経験でき、多様な意見にも触れられる」ことなどが挙げられています。

「1人1台端末・高速通信環境」がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層充実  
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

	「1人1台端末」ではない環境	学びの深化	「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる</li> <li>→ 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に</li> </ul>
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各人が同時に別々の内容を学習できる</li> <li>各人の学習履歴が自動的に記録される</li> <li>→ 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に</li> </ul>
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい(積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる</li> <li>各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる</li> <li>→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる</li> </ul>

「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- ☑ 調べ学習 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ 表現・制作 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ 遠隔教育 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ 情報モラル教育 実際に真実様々な情報を活用する各場面(収集・発信など)における学習

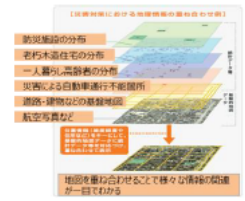
## ステップ2：教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

例えば...

### 国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- 文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う
- 文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



(国土交通省HPより引用)

### 社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- 各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- 分析した情報を、プレゼンソフトでわかりやすく加工して発表する

### 理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- 観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- 観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



### 算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する

- 画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- 正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う

### 外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、児童生徒の発信力を高める

- 一人一人が海外の児童生徒とつながり、英語で交流・議論を行う
- ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、児童生徒のアウトプットの質と量を大幅に高める



(二次関数の特徴を考察)

## 1、2年生 為末公園に「秋見つけ」に行きました。



12月1日(火)に、1、2年生が生活科の時間に近くの為末公園まで秋見つけに行きました。

美しい紅葉や木の实など色々と発見し、季節の移り変わりを感じたり、「春や夏はどんなだったんだろう。赤くなったり黄色くなったりするのはどうしてなんだろう。」「どうして木の实は落ちるんだろう。落ちた後、どうなるんだろう。」などなど、色々な不思議、気づきがありました。この後、拾った木の实などを使って、クリスマスのリースづくりに挑戦しました。

